

3(3) 平成31年度下水道事業会計予算の概要について

将来に渡って安定した下水道事業を継続するには、計画的な施設の維持管理や、財務、組織および人材等の経営基盤強化が必要です。

平成30年度には、「恵庭市総合計画」および「恵庭市都市計画マスタープラン」との整合性を図った、「恵庭市下水道事業経営戦略」を策定し、これから迎える【人口減少】、【施設の老朽化】、【災害対策】に対応出来る様、事業の安定に取り組んでいます。

平成31年度につきましては、経営基盤の安定と持続を目的とした2つの事業と、循環型社会の構築を中心とした、4つの施設整備事業の実施を進めて行く予算編成と致しました。



1) 経営基盤の安定と持続

1. スtockマネジメント改築修繕計画策定

- 下水道事業を持続的に運営するため、リスク評価および点検調査結果に基づき、事業の持続かつ費用の平準化を目的とした、修繕改築計画を策定します。

H31年度(第1期 改築修繕計画策定 5ヵ年分) H32～H36年度(改築修繕の実施)

以後5年毎に計画を策定

《予算》 計画策定・点検委託料 47,240千円(うち、管渠27,240千円、処理場20,000千円)

2. 耐震診断

- 災害に強い下水道を目指し、重要度が高い施設を優先し、計画的に耐震診断を進めます。
重要な管渠の耐震診断H29～H32年度、(処理場の重要度が高い施設の耐震診断はH30年度で完了)

《予算》 管渠耐震診断 委託料 11,620千円

2) 施設整備の推進

3. 長寿命化および耐震化事業

- 管渠長寿命化計画に基づき、管更生による老朽化対策を実施します。
- 処理場耐震化計画に基づき、重要度が高い施設の耐震化を推進します。

《予算》 管渠長寿命化 管更生 工事費 6,600千円 処理場耐震化 実施設計 委託料 30,000千円

4. 下水道整備

- 雨水管整備による浸水対策や、汚水管整備及び個別排水処理施設整備による生活排水処理の普及を図り、浸水に対する防災や快適な生活環境を創出します。

本年度より、戸磯跨線橋架け替えに伴う下水道管移転補償工事を実施します。

《予算》 雨水・汚水整備費 264,100千円(内 移転補償工事 90,100千円)

個別排水処理施設整備 工事費 23,144千円

5. 合流地区分流化事業

- 汚水管を新設し、既設合流管を雨水管とすることで分流化を図り、公共水域の水質保全に寄与します。

《予算》 356,160千円 (委託料 30,000千円、工事費 326,160千円)

6. 排熱利用施設整備【汚泥乾燥施設等】

- ごみ焼却施設と連携した下水道資源の有効利用に取り組めます。

《予算》 汚泥乾燥施設整備(2/3年目) 委託料 729,000千円

